

水清きふるさと

平成17年度活動のまとめ



春を告げる水芭蕉

岩手県生活問題研究会

平成 17 年度活動報告

— 温暖化防止につなぐ —

私たちの研究会は発足より 35 年が経過しました。

この間、刻々と移り変わる社会情勢に敏感に対応しながら、研究会として何が出来るか、何をこそしなければならないか話し合い、研究・活動を継続してきたと言えます。

やがて、世の中は大量生産・大量消費・大量廃棄の時代を迎えます。人々は、物量に目が向けられ、利便性を追求し、長い間かかって人類唯一の住まいである地球の破壊に手を貸す結果となりました。

しかし、一方で、破壊され続けることへの危機を感じる人々もいたのです。正に私たちの 35 年は、その危機感を持つものたちのグループであると言えます。

私たちは一年毎の活動を大切にします。そこから次年度への課題が見えてくるからです。

水環境、ゴミ問題、資源再利用への考え方など、継続すればするほど、次の課題が現実として迫ってきます。

その度に学習をし、調査を行い、視察などを計画・実行してきました。見聞を広げることは、互いの力量を身につける結果となり、一定の成果を上げました。

今、地球温暖化をどう防ぐか、一人ひとりに突きつけられています。私たちは、機会をつかみ、社会への情報提供をするために努力を重ねています。

「計画は地球規模で、実践は足元から」を念頭に、今後も歩みを進めていきます。

平成 18 年 4 月

岩手県生活問題研究会
会長 佐藤まゆみ

河川水のとりくみ

1 取り組みの動機

河川水の汚染の原因は家庭排水にあるといわれています。そして生態系にも影響があると指摘されています。

私たち研究会でも河川水の汚染状況を調査することにしました。

2 活動経過

- 研究内容は河川水に含まれる合成界面活性剤の残留濃度を検出することにしました。
- 検査方法は「メチレンブルー法」とし、消費者の目に訴える方法をとりました。
- 調査結果の中で「メチレンブルー法」には表れない「非イオン界面活性剤」が含まれるのでは、という疑問を持ち
- 「陰イオン界面活性剤」の濃度を数値により比較することにしました。

本流である北上川に流れ込む支流を三地点調査しました。

平成17年度調べ

依頼先「岩手県医薬品衛生検査センター」

採水場所	非イオン界面活性剤	陰イオン界面活性剤
乙部川	0. 01 mg／1	0. 01 mg／1
巣子川	0. 01 mg／1	0. 01 mg／1
鹿妻穴堰	0. 01 mg／1	0. 01 mg／1

検査方法

非イオン界面活性剤上水試験方法 V1-4 12.3

陰イオン界面活性剤 JIS KO102-30.1.1 メチレンブルー吸光光度法

注 非イオン界面活性剤 0. 02 mg/1 以下であること

陰イオン界面活性剤 0. 2 mg/1 以下であること

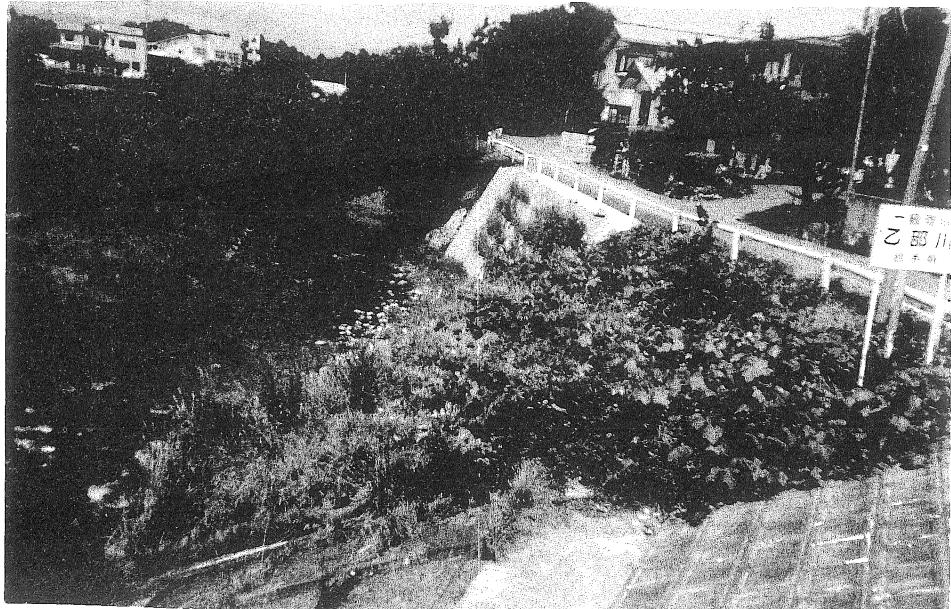
結果 「陰イオン界面活性剤」「非イオン界面活性剤」の両方が河川水の中に含まれていることが分かりました。

その濃度は低くなっています。盛岡市の下水道普及率 84. 6 % になつたためとも思われる。

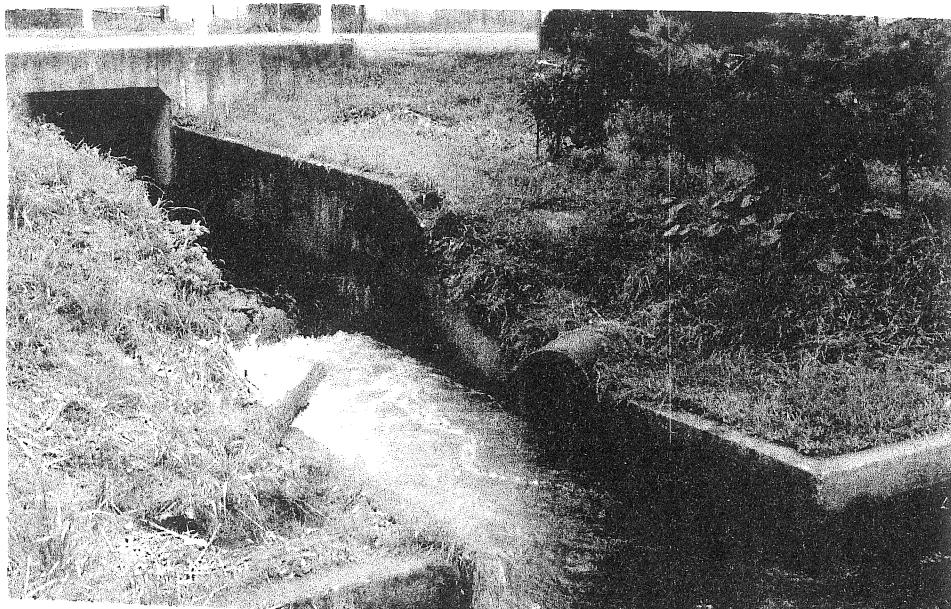
3 これからのこと

- 支流の河川水が汚染されれば本流の北上川が当然汚染されます。
- 今後は支流に目を向けた調査が必要です。
- これからも生命の源である水を守るという視点から調査を継続していく事とします。

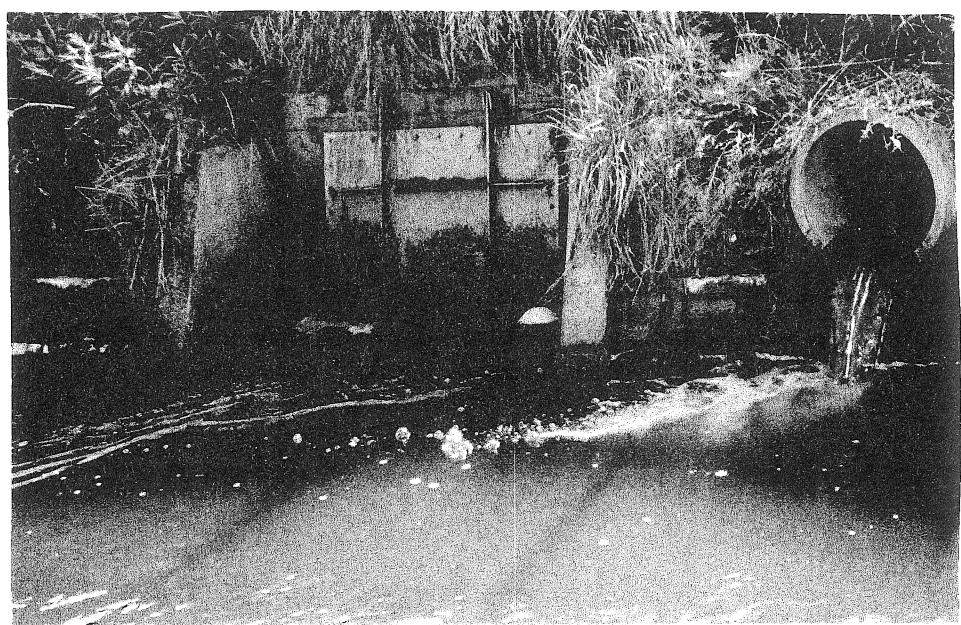
乙部川



巣子川



鹿妻穴堰



過剰包装の見直しを

研究会では、ゴミ減量のためにはどのようにすればいいか 10 年くらい前から学習し調査してきました。今年度は資源の無駄使い防止とゴミ減量化につながると思われる容器の過剰包装に焦点をあててみました。

会員が、毎日の生活のなかで過剰包装ではないだろうかと気になった商品を持ち寄り、検討してみました。

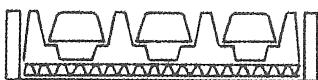
その結果、お店やメーカーでは菓子、野菜、果物のばら売りをしたり、贈答品が簡易包装となったりし、前より少なくなっていました。しかし、内容物の間に紙片やプラスチックが詰まっているもの、内容物のわりに容器が大きすぎるものなどが見受けられました。「簡易包装にし大幅な省資源を実現」と表示してある容器もあり、商品ばかりでなく容器包装にも気をつけている店もありました。

今回調査した過剰包装について盛岡消費者まつりに展示し、見学者の方々からアンケートに答えてもらいました。81通のアンケート結果によると、殆どの人が過剰包装をあげており、包装は簡素にし、贈答品についてメーカーでも一考をという意見がありました。

会員が集めてみた容器包装を検討してみると、約半分くらいの容器包装で充分ではないかとの結論になりました。過剰包装は価格にもはね返り、使用後ゴミを増やし、その処理には分別の手間やエネルギーもかかります。

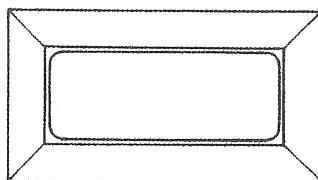
限りある資源を有効に使う為にも容器包装に対する私たちの考え方、ライフスタイルを見直したいものです。

過大包装の類型



アゲゾコ

内容物の保護または品質保全の限度をこえて、外見から容易に判明することができないように、容器の底を上げること。



ガクブチ

内容物の保護または品質保全の限度をこえて、外見から容易に判明することができないように、額縁状の広い巾の縁取りをほどこすこと。



メガネ

容器または外装に切抜きをし、中が見える部分にのみ内容物を入れて、全体に入っているかのように見せかけること。



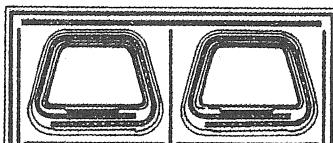
アンコ

内容物の保護または品質保全の限度をこえて、容器の底または個々の内容物の間に紙片、木毛など（アンコ）を詰めること。



コムソウ

内容物の保護または品質全体の限度をこえて、容器のふたを大きくすること。



十二単（ひとえ）

内容物の保護または品質保全の限度をこえて、内装を重ねること。

容器包装アンケートのまとめ

盛岡消費者まつりで容器包装についてのアンケートを、1から12までの商品について4項目に分けてまとめました。

1. 萩の月(菓子)
2. さしみこんにゃく
3. 高濃納豆
4. 柿安(牛の佃煮)
5. 紅茶
6. 桜えびせんべい
7. 牛タン(真空)
8. ブッシュジャーキー(乾燥おつまみ肉)
9. 喜久福(菓子)
10. 弁当(吉田屋)
11. 田村の梅(菓子)
12. 弁当(コープ)

○内容物のわりに容器が大きいもの

- 1, 4, 6, 7, 8, 9

○内装が何重にもなっているもの

- 2, 3, 4, 6, 10, 11

○アゲゾコ

- 5, 9, 10, 12

○内容物の間に紙片や小さいプラスチックがつまっているもの

- 5

【アンケート(81通)に書かれていた意見】

- ☆真空パックなので保冷剤は必要ない、必要な人だけに(牛タン)
- ☆四重包装は多すぎる(納豆)
- ☆しおり、小箱はいらない(柿安)
- ☆クッショニング材、外箱はいらない(紅茶)
- ☆外箱が大きすぎる(牛タン、ブッシュジャーキー、紅茶)
- ☆個箱大きすぎる(菓子、箱なしで売っているところもある)
- ☆仕切り板、内包装いらない(せんべい)
- ☆トレーいらない(さしみこんにゃく)
- ☆弁当の蓋を二重にしなくて良い、アゲゾコ(弁当)
- ☆贈り物、自宅用と包装が選べるとよい
- ☆贈り物にする場合包装が必要であるが、過剰包装のものもあり、メーカーでも一考を
- ☆商品の保護や売るためには仕方ない
- ☆「簡易包装にし大幅な省資源を実現」と表示してあるが、「大幅」という表現は疑問
- などがありました。

第25回 盛岡市消費者まつりの報告

1. 第1回会議 6月24日 プラザおでって
 - *消費者まつりのあり方
 - *テーマは『人と環境、未来に優しい暮らしをめざして』
 - *展示内容について
 1. 参加団体を増やす事
 2. パネル展示が多くマンネリの感じ
 3. リサイクルされた製品がどのように消費者に還元されているか
を数値化や図表などで展示してはどうか?
 - *イベントについて
 1. 出店者募集、出演者の募集
 2. ホールでの中古品販売は必要ない
 3. 体験型イベントをもう少し増やす
 4. まつりの開催日を2日間にしてほしい
2. 第2回会議 7月8日
 - *研究会の出展内容を報告
 1. 河川水(一級河川の支流)の非イオン、陰イオンの濃度調べ
 2. 紙類、発泡スチロール等のリサイクル状況
 3. 廃油による石鹼づくり
 4. 廃油で作る車の燃料
 5. 分類別クイズ
3. 第3回会議 7月22日
 - *出展の具体的な話し合い
 1. テーブル、椅子、水、ガス、テントなどの申し込み
 2. 搬出入の時間、場所の確認
 3. 開催負担金(消費者団体¥4,000)
4. 第4回会議 10月22日
 - *消費者まつりの反省会
 1. 宗教団体が道路でチラシを配布していた為、まつりとの関連で誤解をされた
 2. まつり会場を変更したらどうか?
(会場費、広さ、職員の配置などで無理)
 3. 若者達のまつりのイベントと言う言葉の認識の違いがある
 4. 体験コーナーがあった事は、集客には大変良かつた
 5. 過剰包装の展示に多くの人が興味を示した
 6. 盛岡市のゴミ分別には、まだ考える事がたくさんあるように思う

食用廃油の行方

～あなたのうちでは使い古した食用油を、どうしてますか～

☆リサイクル石けん

・固形石けん

よごれがよく落ちる優れもの。

・プリン石けん

柔らかく水に溶かして使えば
とても便利。

☆食用廃油を燃料に

・バイオディーゼル

・化石燃料に（軽油）代わる代替燃料として植物性の油を原料にしたディーゼル用の燃料です。

・地球温暖化を防ぐ切り札。

・二酸化炭素（CO₂）を、ぐんと減らして地球温暖化防止に役立ちます。

《岩手県生活問題研究会》

杉生園に行けば食用廃油の
燃料で動く自動車があるよ。
廃油が燃料になっていく
順序がよくわかるサンプルが
あるよ。

・自然の恵みによって、繰り返し使われ
地球環境の中で、太陽、風力、水、など
と共に、何度も使うことのできる
エネルギーになる。

《提供 株式会社セベック、盛岡杉生園》

今まで捨てられていた資源を再利用し、
地球にやさしいくらしを、いっしょに
考えてみませんか。

岩手県消費者大会

2005年11月1日 サンビル7階

テーマ「未来のために暮らしの場から発信し人間らしい暮らしを築きましょう！」

庶民の増税が広がり、これ以上増えたら暮らしていけないと言う声が大きくなる中、政府税制調査会は、「所得税の定率減税の廃止、給与所得控除の廃止」などの増税を発表した。

この事態を踏まえ、民主税制を研究する湖東京至先生の
「所得税・住民税大増税と消費税大増税」と題しての基調講演がありました。

①政府税調のサラリーマン大増税路線

(配偶者特別控除の廃止、老年者控除50万の廃止等、
公的年金控除の縮小、住宅ローン控除の縮小)

②消費税大増税の方向

③消費税は福祉財源としてふさわしくない税制

④消費税を廃止しても代わりの財源はある

⑤消費税の税率引き上げは阻止できる

<感想>

上記5項目はいずれも腹の立つ事ばかりで、先行き不安がつのってきます。私たち一人では弱い消費者も連帯して行動し、国に、県に声をあげていかなければならぬ。もちろん未来の子どもたちのためにも！

第4分科会 「どうなる！あなたの年金」 助言講師中村健三さん

- 平成16年に年金が改正された。今回の改正では、将来の負担が過重なものとなるよう保険料水準を固定し年金額を自動的に調整するしくみを導入するなど給付と負担の見直しがなされたようだが、疑問点が多くある。
- 健康保険・厚生年金保険料額表を見ると、標準報酬に応じ月額98,000～980,000まで39段階あるものの、低所得者で4,018円の負担、980,000円の人で40,180円と4.1%の負担となる。数字的には平等であるが、はたして平等といえるのでしょうか？
- さらにそれ以上の高額所得者は負担の上限が40,180円になっているので、例えば1000万円の月収でも40,180円の保険料となり、計算すると0.4%以下の負担割合ということがわかり、納得できるものではありません。

*年金は受給者一人一人の内容が違ってくるので、受給するまえに自分の場合はどうなるのか、しっかり確認しておく必要があると実感しました。

視察学習会

プラスチック製容器包装材リサイクル工場 北上市 小田島建設株式会社
平成17年11月4日

私たちは毎日たくさんのプラスチック容器にお世話になり廃棄しています。そこで、県内では唯一のプラスチック製品のリサイクルをしている工場の視察学習会をしました。

リサイクル工場 小田島建設では花巻、北上、宮城県の石巻のほうからの廃プラを引き受けています。そのリサイクルの現場を見せていただきました。

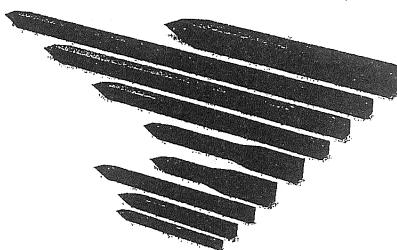
工程のあらまし

右図

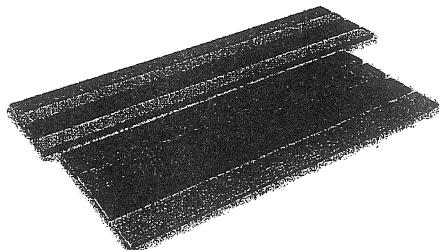
再生品の種類

● プラ角杭・プラ丸杭

様々な用途に使用可能な多目的資材です。



● エコプラ板



感想

廃プラゴミとして送られたものが荷ほどきされ、はじめに選別作業が始まります。食べ物の残りがひつついでいたり、プラ製品でない異物が混入していたりで、その除去作業が大変です。現場は騒音と臭いが結構強く、働いている人たちの大変さを感じました。

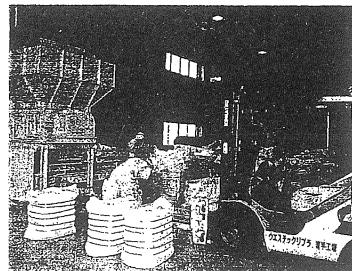
リサイクルにまわすゴミは、特にしっかりと分別し、きれいにして出すことが消費者としての責任であること。又、再生された製品は、パレットやプラ角杭が主で、今後このような製品の需要は伸びるのだろうか、供給過剰にならなければよいがと思いました。

まずは、リサイクルよりも、何とか廃プラを出さないような工夫をしなければという思いを強くした視察学習会でした。

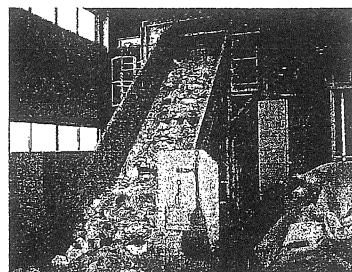
再生処理工程のあらまし



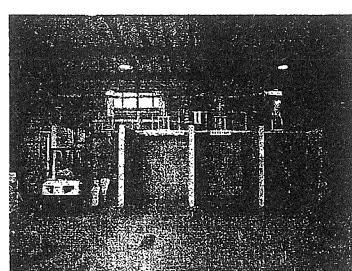
二軸破袋機にて解梱



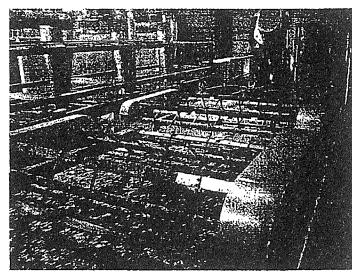
選別コンベア・鉄片探知機
(鉄・不適物の除去)



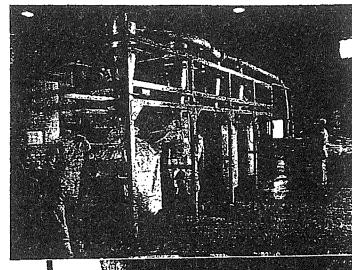
乾式粉碎機
(一次粉碎)



ストックヤード
(フラフの保管)



供給タンク・湿式粉碎機
(二次粉碎・洗�虑)



沈む物

浮く物



洗�虑脱水機・乾燥プロアー
(脱水・乾燥)



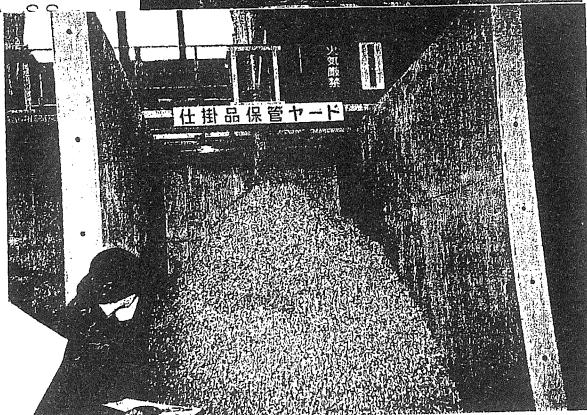
洗�虑脱水機・乾燥プロアー
(脱水・乾燥)



フレコンパック
再商品化製品
(PE・PP、フレーク・フラフ混合物)



フレコンパック
(廃棄物として処理)



特別養護老人ホーム「あすなろ」を見学して

施設概要 (小規模生活単位型—ユニットケア方式—新型特養)

■敷地面積 5,756.40m²

■建物構造 鉄筋コンクリート造り平屋建

■建物延床面積 1,889.29m²

☆ユニットケアの特徴

- ・少人数(10人)の利用者と職員が一緒に暮らす我が家をつくります(ユニット)
- ・我が家暮らしは可能な限り自宅の日常生活に近づけます
- ・日常生活や人間関係が途切れないよう支え合います
- ・ゆったりと自由にありのままの中にも生活リズムがある暮らしです

☆ユニットの構成(3ユニット)

- ・居室——8畳の個室10室プライバシーが確保された生活空間
- ・共同生活——個室の近くにある入居者同士交流できる生活空間

簡単な対面式キッチン、ダイニング、リビング

- ・お風呂——個浴であり、「いつでも自由に」を原則に

☆地域交流ホール

- ・自治会、婦人会、老人クラブ等の交流
- ・趣味、創作活動等の拠点及び展示
- ・ボランティア、外部慰問との交流(子ども会行事、作品展示会、発表会)

共同浴場、喫茶コーナー、交流テラス、ゲートボール場など設備が充実しています。



暮しの1コマ(家庭菜園)

☆利用料金

要介護度	介護保険 自己負担	食事 サービス費	居住費	1日の合計	1ヶ月合計
要介護 1	853 円	780 円	1, 530 円	3, 163 円	94, 890 円
要介護 2	920 円			3, 230 円	96, 900 円
要介護 3	988 円			3, 298 円	98, 940 円
要介護 4	1, 055 円			3, 365 円	100, 950 円
要介護 5	1, 122 円			3, 432 円	102, 960 円

※その後改正があり、食事費などが自己負担となったので、利用料金は増えていると思われます。

《感想》

わたしのイメージしている特養は、大部屋に4つぐらいのベッドがあり、日中はホテルのような部屋で皆が何をするでもなく集められている。テレビもあるけど熱心にみてるようでもないし…(私の父が以前入居していた施設はそんな感じでした。)あすなろでは、特養には少ないように思われる個室なので、プライバシーも守られています。ユニットケアということで介護士さんの目も届く事と思います。

グループホームはこのような形態をとっていて、後で父がグループホームに移れた時は感動したものでした。食事の仕度を一緒にしたり、そうじを手伝ったり、話好きのおばあちゃんがいたり、とても和やかな雰囲気で、訪問するのが楽しみでした。ここだったら、父も安心して暮らせると思いました。しかし慣れてくると、少人数のため刺激が少ないのでしょうか?にぎやかだった人も口数少なくなり、介護士さんの話し掛けなども以前に比べ少なく、みんなの元気がなくなり、症状が目に見えて悪化していくのが感じられました。訪問するのがつらくなりました。あすなろでは常に地域の人や、外部の人がいろんな形で、出入りすることで、交流できているように説明していました。入居者はもちろん介護従事者も刺激を受け、変に慣れるということがないように思いますし、そう期待したいものです。実際、身内のものが施設にお世話にならないと、内情はわかりにくいので、いざという時のために、施設見学を何度も経験しておくことはとても大切な事と思います。

第 44 回全国消費者大会に参加して

日時 2005 年 11 月 16 日・17 日

場所 国立オリンピック記念青少年センター（分科会 代々木）
イイノホール（全体会 霞ヶ関）

分科会は①消費者政策 ②食 ③税・社会保障 ④市場と安全 ⑤環境
⑥平和で、①消費者政策の分科会に参加（158 名参加）

内容 タイトル 「発揮しよう！消費者の底力」～消費者被害・団体訴権・消費生活条例・消費者団体の役割を考える～

- ① 消費生活センターの役割
- ② 初めて簡易裁判所を利用される方のために
- ③ 特定調停制度について ④ 消費者被害と裁判
- ⑤ 消費者基本法と消費者の行動 ⑥ 消費者団体訴訟制度
- ⑦ 消費者団体としての政策決定の場への参加
- ⑧ 京都生協「消費者の権利を実現する取り組み」について
- ⑨ 「消費者団体訴訟制度の在り方について」の概要
- ⑩ 消費者基本計画の概要
- ⑪ 県消費生活条例到達度チェック表、と盛りだくさんでした。

感想 この中で特定調停について分からなかったのですが、多重債務の経済的救済制度だということ、また裁判にはお金と時間がかかるイメージでしたが、司法書士にたのむこともできることを知りました。

消費者基本法は行政から発信しており、事業者よりになってしまふので、消費者が発信することが大切だと思いました。

消費者団体訴訟制度は、消費者契約に関連した被害は一般に同種の被害が多数の人たちにわたることが多く、消費者被害の未然防止、拡大防止のためこの制度が必要で、次期通常国会で法制化されるらしいとのことでしたが、岩手県のようなところでできるのだろうかという疑問を持ちました。

消費生活条例について全国 20 の都道府県で改正がおこなわれ、岩手県でも岩手県消費生活条例となり、消費者政策の具体的な内容が盛りこまれましたが、一般の人たちにとってはこのような条例が存在し、改正されたことがまだ知られていないように思われました。

全体会では、前日の内容を発表するだけでなく、全員参加型の交流会で、クイズをやったり、JA青年部が日本の食を守る青年チャレンジリレーをやって、16 日に会場に参加したこと、また全国大学生協連が参加し、消費者被害の取り組みや学習会や交流会をしていることの報告があり、若者の参加があったということでした。

全国消費者大会に参加することができ、学習し行動することの大切さを改めて知ることができました。 （報告 松村ウメ子）

第44回 全国消費者大会

1日目分科会 2005.11/16(水)

⑦ 税・社会保障の分科会に参加 (田上) 参加者: 57名

午前の部、4団体から問題提起

1. 不公平税制をただす会の富山さんから

国の財政の中で大切なのは「所得の再分配」の機能、社会保障、弱者の救済が必要と強調しながら、税金や社会保障がこれほど話題になっているのはなぜか?今の税金は公平か不公平か、税・社会保障を考えてみよう。

2. 日本生協連福祉事業推進部の佐川さんから

介護保険のあらましと介護保険制度改革の主な内容について、特に要支援者、新予防給付など介護保険制度からはずしていく方向なども報告されました。

3. 全国商工団体連合会婦人部協議会の牧野さんから

中小業者の実態と消費税改悪が負担を重くしている一方、大企業には消費税戻し税や優遇税制など、不平等な実態があることを報告しました。

4. 日生協医療部社会保障委員の田中さんからは

「医療制度構造改革試案」の内容と問題点を報告し国民の思いと同じなのか、国民にとっての改革はどうしたらいいのかと問題提起をしました。

午後の部

6分散会に分かれ、午前の提案や報告をもとに話し合いました。

- ・消費税やガソリン税など2重課税されている、社会保障など払えない中小業者の倒産・廃業も多く地域の雇用も減少している。
- ・大企業は優遇されている、オンブズマンなどチェックする必要がある。
- ・公共事業などは透明性のある税金の使い方にする。
- ・「社会保障とは、人間の権利であって、社会全体でフォローするべきである。」そのためには、税金・社会保障のしくみを知ることから始めよう。
- ・消費税導入時には反対運動も活発でしたが、再び増税の動きがある中で、改めて大きな運動が必要なのではと、問題意識を高め、地域からの活動報告なども含め話し合いました。

<感想>

大企業などの優遇税制を改めるだけでもかなりの税収が見込めるのになぜメスを入れられないのか、マスコミももっととりあげればいいのにと思ってしまいます。しかし、スポンサーは全て大企業になっている現実ではそれは難しいとの事。しかしあきらめるのではなく私たち消費者が小さいながらも声をあげて大きな輪をつくり地道な活動をつづけることで、すこしづつでも暮らしやすい世の中にしていけたらと思いました。

日本チェーンストア協会生活者懇談会
平成17年11月30日 マリオス18階

消費者団体の会員15名とチェーンストア協会担当者15名が集まって、チェーンストア協会への要望、食品表示・商品管理・ごみ減量化・包装削減・接客などについて話し合いました。

商品管理

- Q 鳥インフルエンザの問題、
A 従業員の健康管理や鶏舎の管理を農家に記録させている
Q 袋詰め商品の中身の点検について
A 商品の点検を今後もっとしっかりする

ごみ減量化

- Q レジ袋を節約するとポイントを出す店と出さない店があるがポイントを出しマイバック運動をもっと推し進めるべきでないか
A 今、協会としてもレジ袋有料化について検討している。皆さんのように積極的に協力くださるよう働きかけていきたい。

包装削減

- Q 包装が不必要と思われる野菜にもトレーを使っています。また、刺身の彩にプラの飾りがあるが不必要でないか。
A 野菜のトレーについては協会の企画がありなるべく使わないようにしている。今後も極力使わないよう努力する。
Q 消費者まつりで包装についてアンケートしたところ、課剰包装が多すぎるという意見が大半であった。改善の余地は無いか。
A 包装についてはもっと簡易にということをメーカーと共に考えていかなければいけない。岩手県の皆さんには大変環境問題に関心が高く、正直びっくりしている。

接客

- Q 従業員の商品レベルが低く満足な説明を受けられなかつたり、店員が少なくて聞きたい事があつても聞けない事がある。
A 従業員の商品知識の向上を行うよう心がける。また人件費の関係で人手不足はあると思うが遠慮なく聞いて欲しい。

その他たくさんのお話を伺いましたが、主催者側の説明が長くて最後のほうは時間切れになりました。しかし、消費者としての要望も話したので幾分これから商品管理や包装についても今まで以上に気をつけることと思います。

岩手県電機商業組合との懇談会

平成17年12月20日 県民生活センター

協力団体・出席団体

(団) 家電製品協会、全国家電流通協議会

(社) 全国家電製品公正取引協議会

NHK盛岡放送局

岩手県地上デジタル放送推進協議会

東北電力（株）岩手支店

消費者団体、一般参加者、消費者モニター

議題

1. アナログ放送波停止、地上デジタル放送の周知
2. 小売業における表示の公正競争規約
3. 家電製品の安全使用について
4. 家電リサイクル法

1. 電磁波に余裕がなくなってきたため、デジタル化することにより多くのチャンネルや画像を配信するため、世界ではデジタル化が進んでいる、日本はかなり遅れている。岩手県では、紫波の新山にキー局がある。

2. 独占禁止法によりきつく指導されている。

電機商協では公正特別取引委員会が設けられている。

3. チラシの配布内容のチェックは全国では年4回、その他に東北6県の組合では3月と9月の計6回のチェックをしている。1ヶ月前に配布されたチラシを無作為に抽出し点検している。年1回の店頭調査もしている。

4. 岩手県のリサイクル状況（2001年4月1日リサイクル法施行がされてからの数字）

エアコン 3675件 60%～82%

テレビ 2835件 55%～81%

冷蔵庫 4830件 50%～64%

洗濯機 25020件 50%～68%

・鉄、アルミニウム、銅、金属、プラスチック、ガラスに分別し、原材料や部品として商品化している。

・今後、リサイクル製品の品目はふえていくと思われる（掃除機、レンジ……）

・消費エネルギーの取り組みとして、東北電力ではオール電化の生活を勧めている。

※前もって友の会より質問事項が提示されていたが、時間の関係上、回答は後ほど各団体へ文章にて報告することでした。

直接質問したかったが、時間がなく残念でした。

平成 17 年度活動報告（2005 年）

4月

- 14 日（木）・例会 研究会室
- 26 日（火）・消団連総会 県民生活センター
- 28 日（木）・活動まとめ作業

5月

- 3 日（火）・平和憲法を守るいわての集い 教育会館
- 11 日（水）・例会 研究会室

6月

- 1 日（水）・大型店出店を考える「まちづくりシンポジューム」サンビル
- 7 日（火）・例会 研究会室
- 21 日（火）・原爆と戦争展当番 岩手県公会堂
- 24 日（金）・盛岡消費者まつり実行委員会 おでって
- 29 日（水）・農産物の残留農薬等について 東北農政局盛岡出張所

7月

- 8 日（金）・消費者まつり実行委員会 おでって
- 13 日（水）・例会 研究会室
- 25 日（月）・消団連会議 県民生活センター
- 28 日（木）・河川水調査下見 滝沢 永井 見前 乙部
水の日石けん配布準備

8月

- 1 日（月）・水の日行動、石けん配布 県町ホットライン
- 5 日（金）・研究会室整理
- 10 日（木）・例会 研究会室
- 18 日（木）・消団連会議 県民生活センター
- 19 日（金）・河川水の採取 滝沢 永井 見前 乙部
- 26 日（金）・消費者まつり実行委員会 おでって
- 29 日（月）・消費者まつり資料作り 研究会室
- 30 日（火）・消費者まつり資料検討 研究会室

9月

- 2日（金）・消費者まつり資料作り 研究会室
8日（木）・例会、消費者まつり搬入 おでって
9日（金）～11日（日）・盛岡消費者まつり おでって
12日（月）・アメリカのBSE対策 総合福祉センター
13日（火）・食料・農業・農村基本計画 岩手農政事務所
〃 岩手県消費者大会打合わせ 県民生活センター
22日（木）・研究会事務整理 研究会室

10月

- 6日（木）・岩手県消費者大会打合わせ 医療生協
12日（水）・例会 研究会室
18日（火）・消団連 県民生活センター
20日（木）・過剰包装アンケートまとめ 研究会室
24日（月）・盛岡消費者まつり反省会 おでって

11月

- 1日（火）・岩手県消費者大会 サンビル
4日（金）・廃プラリサイクル工場見学 北上 軽費老人ホーム見学
9日（水）・例会 消費者講座「薬の上手な使い方」 ホテル山王
16日（水）17日（木）・全国消費者大会 東京青少年記念会館
28日（月）・消団連幹事会 県民生活センター
30日（水）・チェーンストアー協会懇談会 マリオス

12月

- 8日（木）・食・いのち・農業を考える 県民会館
11日（水）・例会 共済会会議室
15日（木）・食・農タウンミーティング盛岡 おでって
20日（火）・電気商業組合懇談会 県民生活センター
〃 ・BSE緊急抗議學習会 教育会館
21日（水）・消団連幹事会 県民生活センター

1月

- 9日（月）・憲法を守る署名活動 緑ヶ丘生協
11日（水）・例会 共済会会議室
25日（水）・街づくりシンポジューム「無秩序な郊外型大型店規制と住みたい街づくり」 水産会館

2月

- 1日（水）・遺伝子組換え農作物について 岩手農政事務所
4日（土）・いわて食育フォーラム サンセール
8日（水）・例会 共済会会議室
9日（木）・平和憲法を守る署名活動 いわて生協
21日（火）・省エネ家電製品普及促進セミナー エスポワールいわて
23日（木）・消団連幹事会 県民生活センター

3月

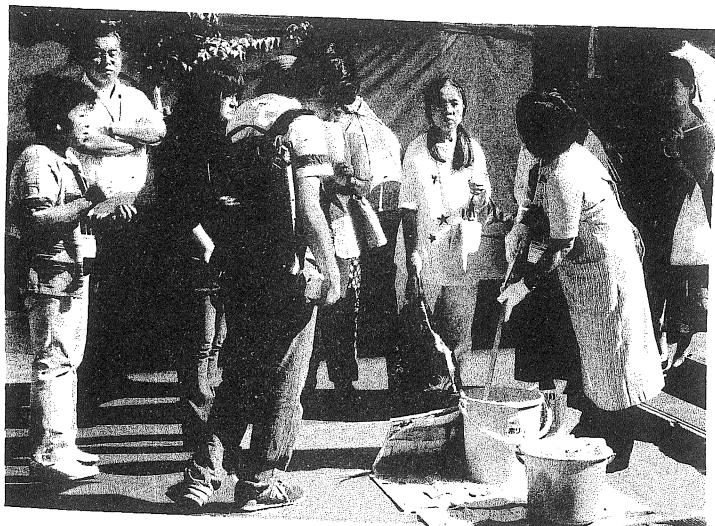
- 1日（水）・いわてコメネット 県民会館4階会議室
6日（月）・学校給食における地産地消と食農教育 県民生活センター
8日（水）・例会 共済会会議室
18日（土）・平和を願う市民の集い in 岩手 教育会館
23日（木）・消団連幹事会 教育会館
30日（木）・17年度のまとめ検討 共済会会議室

各種モニター・役員等

岩手県環境アドバイザー 佐藤 まゆみ
きれいな水といのちを守る連絡会会長 広野 カツ子

廃油石けん作り

佐藤	33.	7リットル
杉山	21.	8リットル
三田村	9.	9リットル
葛	3.	3リットル
田上	16.	5リットル
松村	40.	3リットル



会員

・佐藤 まゆみ	・熊谷 佳枝	・杉山 溫子	・葛 和子
・伊藤 せつ	・長野 慶子	・下上 マツ子	・田高 アイ
・三田村 和子	・千葉 より子	・広野 カツ子	・松村 ウメ子
・田上 みね子	・細野 孝子	・吉田 伊保	